

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

旧年中、皆様方には（公社）教育文化協会に対するご支援・ご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。また、本年が皆様方にとってさらに良い年となりますよう祈念いたします。

さて、新年は明るい話題で始めたいと思いましたが、今も継続しており避けて通れないのは、「新型コロナウイルス感染症」に関する問題です。医療、経済、子育て、介護、政治…コロナ感染症はあらゆる分野で課題が山積する要因となり、これまで潜在していた問題が顕在化したきっかけにもなりました。

連合は働く仲間たちを守るため、労働者の雇用の維持、休業の回避、派遣労働者や外国人労働者等に対する安易な雇止めや解雇がなされないよう、法令周知や対策の徹底等を国に要請してきました。先行きが見えず、誰もが弱い立場に成り得る状況の中、誰もが手を差し伸べられる、そして、差し伸べた手を受け止めることができる社会を創ることができれば、少しずつ明るい光が見えてくるのではないのでしょうか。

これまでも、伝染力が強く死に至る疫病として紀元前よりその存在が知られた天然痘、3度にわたる世界的流行を見せたペスト、1900年代初頭に猛威をふるったスペイン風邪等、歴史上、感染症は数多くの犠牲者を生み出してきましたが、ついには撲滅宣言を出すことができた天然痘のように、人類は困難を乗り越えるための英知を持っています。インフルエンザのように共存していくことになるのかもしれませんが、いつか来る夜明けのために、今、自分に何ができるかをじっくり考える良い機会だと考えます。

学問の世界にも大きく影響し、大学の授業も思うように進まない中ではありますが、連合が掲げる「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けては、働くことやワークルールについて社会全体で理解・共有できる「労働文化」づくりが不可欠です。それは、どんなに困難な状況にあっても、途切れさせてはいけません。当協会は本年も、若者に対する労働教育を目的とし26大学で開講している「連合寄付講座」の充実をはかります。連合寄付講座では、当協会が運営する6大学に加えて、地方連合が運営する20大学で、それぞれの地域の特色を活かした講座を開講しています。今後もその裾野をさらに広げられるよう、新規開設に関する要請・要望にしっかりと応えていきます。

2001年に開講した「Rengoアカデミー・マスターコース」につきましては、現在開講中の第20回も含め、462名が受講しています。プログラムのさらなる充実をはかり、連合運動の次代を担うリーダーの育成に努めていきます。あわせて、「幸せがし文化展」や、「私の提言」などの文化事業につきましても、より多くの方から応募いただけるよう、連合や構成組織、関係団体などと連携をはかり、積極的に展開していきます

また、当協会は2020年7月1日に（公財）日本労働文化財団と統合しました。連合大学院事業をはじめ、すべての働く人を対象とした労働教育のさらなる充実を中心に置きながら、引き続き、社会の共感を呼び、共に学び合える事業を推進してまいります。皆様方の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



理事長 南雲 弘行

Rengoアカデミー第20回マスターコースが開講

～約1年におよぶプログラムがスタート！～

Rengoアカデミー第20回マスターコース（校長：神津里季生連合会長）を2020年11月15日（日）に開講しました。前期は新型コロナウイルス感染症の影響により、合宿を中止してオンライン講義での運営になりましたが、初日の開講式と講義のみ、連合会館での対面運営を行いました。



開講式では、主催者を代表して南雲弘行理事長が挨拶し、「異なる組織から派遣されている者同士で、立場の違いを超えて積極的に議論し、交流を深めてもらいたい」と受講生に伝えました。

つづいて、神津里季生Rengoアカデミー校長、中村圭介Rengoアカデミー教務委員長（法政大学大学院連帯社会インスティテュート教授）から、受講生に激励のメッセージが送られました。最後に、自動車総連の近藤大輔さんから、受講生14名を代表して決意表明が行われました。

開講式の後、オンライン会議システムを利用した6日間の前期集中講義がスタートしました。受講生は、幅広い領域・分野の講義（下表①）を受けるとともに、グループワークを通じて活発な意見交換を行い、講義後は5つのゼミナール（下表②）に分かれ、夜遅くまで熱心に議論を交わしました。受講生は今後、数回行われる必修ゼミで自身の課題認識を掘り下げ、後期合宿（2021年5月16日～21日）で修了論文の構想を発表する予定です。

7月の修了論文提出・9月の修了式まで約1年にわたるプログラムとなりますが、派遣いただいている各組織におかれましては、受講生への温かいご協力・ご支援をお願いいたします。

①Rengoアカデミー第20回マスターコース・前期集中講義の内容

講義日	科目	講師氏名
11/15 (日)	論文のまとめ方	高木 郁朗 Rengoアカデミー副校長
	連合の役割・行動I	神津里季生 連合会長 中村 圭介 Rengoアカデミー教務委員長
11/16 (月)	アサーティブ・トレーニング	森田 汐生 アサーティブ・ジャパン代表
	日本の財政と社会政策の課題	佐藤 滋 東北学院大学准教授
11/17 (火)	労働法の基礎	浜村 彰 法政大学教授
	「安心社会」への戦略を考える	宮本 太郎 中央大学教授
11/18 (水)	仕事と賃金	石田 光男 同志社大学名誉教授
	連合組織強化の課題	下田 祐二 連合総合組織局長
		中村 圭介 Rengoアカデミー教務委員長
11/19 (木)	ジェンダーと労働	神尾真知子 日本大学教授
	歴史からみた労働組合の役割	高木 郁朗 Rengoアカデミー副校長
11/20 (金)	人材活用と人事管理の課題	橋元 秀一 國學院大學教授
	組合リーダーに聞く	逢見 直人 連合会長代行
		高木 郁朗 Rengoアカデミー副校長

②ゼミナールの内容

担当教員・テーマ
禹ゼミ 禹 宗杭 埼玉大学教授 「グローバル化と日本の労働組合」
木本ゼミ 木本喜美子 一橋大学名誉教授 「少子高齢社会のなかの人間と労働組合」
毛塚ゼミ 毛塚 勝利 労働法学者 「労働法と労働組合」
高木ゼミ 高木 郁朗 Rengoアカデミー副校長 「経済・産業と労働組合」
橋元ゼミ 橋元 秀一 國學院大學教授 「企業・職場と労働組合」

連帯社会研究交流センター 連続講座のご紹介

連帯社会研究交流センター（ReCSS／通称：レックス）では、連帯社会に関わる研究者の方々から問題提起をいただく「連続講座」を実施しています。すでに4回終了し、ご好評をいただいております。

今年度はZoom開催のため、全国どこからでも参加できます。みなさまのご応募をお待ちしています。

連続講座プログラム一覧

第5回 1月16日（土） 15：00～16：40	テーマ：デンマーク福祉社会のあゆみとこれから 講師：茨城大学社会連携センター 産学官連携コーディネーター 加藤 壮一郎 氏
第6回 2月6日（土） 15：00～16：40	テーマ：フランス協同組合史を概観する—生産と消費をめぐって 講師：公益財団法人協総合研究所 研究員・編集長 鈴木 岳 氏

連帯社会研究交流センターのホームページ内「イベント・シンポジウム」から、メールフォームに必要事項を記載の上、ご応募ください。

ご応募はこちらから
→ <http://recss.jp/event.html>



第15回「労働法講座」(基礎コース)を開催

2020年10月12日(月)～13日(火)、連合会館において第15回「労働法講座」(基礎コース)を開催しました。今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、三密回避の観点から受講者を30名に制限しての開催となりました。



初日は石田昭浩連合副事務局長から、直面している問題(コロナ禍、高齢者雇用など)を例に、労働組合や連合の取り組みを紹介したのち、野川忍明治大学法科大学院教授から、労働法の必要性や役割、全体像に加え、労働契約法や労働安全衛生法などについて講義いただきました。

2日目は森戸英幸慶應義塾大学法科大学院教授から、労働組合法や男女雇用機会均等法、非正規雇用の待遇格差、同一労働同一賃金を巡る最高裁判決などをお話いただきました。

来年秋にも開講する予定です。皆さんの参加をお待ちしています。



▲石田副事務局長



▲野川教授



▲森戸教授

受講者アンケートより

- ◇連合の考え方、特に政策に関する部分や政府への要請活動を知ることができてよかった。日々、細かくチェックできないため新鮮だった。
- ◇使用者と労働者の関係性を根本から理解できてよかった。集团的労使関係により、労働者が力関係で負けずに済むためにも労働組合は大切だと思った。
- ◇「労働組合は国から非常に特別な権利を与えられている存在」という言葉が印象に残った。労働三権をここまで基礎的に学んだのは初めてのため、自分のものにして組合活動を進めたい。



「ワークルール検定2020・秋」を実施

ワークルールに関する知識を身に付けたいという社会的なニーズの高まりを受け、労働法に関わる一般的な知識の理解度について検定を行う「ワークルール検定」が、(一社)日本ワークルール検定協会の主催(厚生労働省・日本生産性本部が後援)で実施されています。

教育文化協会は、連合や中央労福協などとともに、本検定の運営に参画しながら、その展開・拡大に取り組んでいます。



2020年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で春の検定が中止になったため、11月23日(勤労感謝の日)に初級検定を全国49カ所、中級検定を全国6カ所で実施しました。初級は、1,659名の方が受検し、1,270名の方が合格されました。中級は328名の方が受検し、241名の方が合格されました。

次回の検定は、2021年6月13日(日)に初級と中級を実施する予定です。詳しくは下記ホームページをご覧ください(2021年3月上旬掲載予定)。



URL : <http://workrule-kentei.jp/>

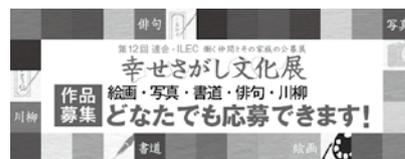
Facebook : <https://www.facebook.com/workrulekentei/>

Twitter : <https://twitter.com/workrulekentei>

第12回 連合・ILEC 幸せさがし文化展

～働く仲間とその家族の公募展～

～募集スタート～



いよいよ2月1日から俳句・川柳・写真（データ）の部、4月1日から絵画・書道・写真（プリント）の部の募集が始まります。今回も連合大賞、ILEC大賞をはじめ、好評を得ている「ジュニア特別賞」（応募時年齢が15歳以下の方を対象とする賞）や「シニア特別賞」（応募時年齢が80歳以上の方を対象とする賞）、その他各賞を設けております。

また、写真の部では、プリント作品での応募の他、データ送信による応募が可能でしたが、今回より川柳・俳句の部でもWEB応募が可能になりました！

どなたでも応募できます。組合員の皆さんやそのご家族、組合OB・OG、一般の方々など、是非お声がけの上、ふるってご参加ください！

- 募集期間 2月1日(月)～5月31日(月)(当日消印・受付印有効)
俳句・川柳・写真(データ)の部
4月1日(木)～5月31日(月)(当日消印・受付印有効)
絵画・書道・写真(プリント)の部
- 発表 7月1日(木)に入賞者をILECホームページで発表
入賞者のみに7月上旬に書面で通知
- 作品展示 8月下旬にILECホームページに入賞作品全点を展示
10月5日(火)～6日(水)新宿文化センター
(連合第17回定期大会会場)
- 各賞 絵画・写真・書道(各部門)
連合大賞・ILEC大賞 各1名 賞状・賞金10万円
シニア特別賞1名 賞状・賞金3万円
ジュニア特別賞1名 賞状・図書カード3万円
その他各賞
俳句・川柳(各部門)
連合大賞・ILEC大賞 各1名 賞状・賞金5万円
シニア特別賞1名 賞状・賞金3万円
ジュニア特別賞1名 賞状・図書カード3万円
その他各賞



▲第11回文化展の「連合大賞」受賞作品

詳細は、Web サイトへ…

幸せさがし文化展

検索



大賞賞金
最高10万円

新刊のご紹介

教育文化協会は、2020年6月に『ものがたり 現代労働運動史2』を発刊いたしました。

連合結成以降の労働運動の歴史についてのシリーズ2冊目として、1993年～1999年を対象に、資料収集と聞き取り調査をもとに高木郁朗日本女子大名誉教授がまとめられたものです。



連合新書

『ものがたり 現代労働運動史2
1993～1999 失われた10年の中で』

高木郁朗著、教育文化協会協力
四六判239ページ、本体2,300円+税

絶賛発売中ですので、お求めの際は、教育文化協会もしくは出版元の明石書店までお問い合わせください。

◆ 統合記念動画のご紹介 ◆

(公財)日本労働文化財団との統合、そして教育文化協会設立25年の節目を記念し、記念動画を作製中です。1月中のホームページ公開に向け、鋭意作業中です！！

編集後記

前回の編集後記でダイエット宣言後、8kgの減量に成功し、筋肉も3kg増えました！どんなダイエット方法でも、結局は地道な努力を継続した上での強い意志が一番大切だと実感した2ヵ月でした。弊協会事業もコロナで大きな運営変更を余儀なくされていますが、コツコツ地道に仕事を継続することで、いつか報われる日が来ると信じています (ぴー子)